

## 会 議 録

会議の名称	平成26年度第2回戸田市児童福祉審議会
開催日時	平成26年7月17日(木) 午後2時00分～3時30分
開催場所	大会議室A
会長等氏名	会長 中村 信成
出席者氏名 (委員)	米倉 裕子 芝崎 春樹 飯田 登志子 湯地 浩一朗 中野 康子 高木 直子 青柳 正彦 杉林 真紀子 根本 浩伸
欠席者氏名 (委員)	永塚 博之 西川 達男
説明のため出席した者	アシスト(株) 安保
事務局	三木部長 駒崎次長 黒澤副参事 矢ヶ崎課長 佐々木主幹 櫻井主幹 重松主任
議 題	1 子ども・子育て支援事業計画「量の見込み」・「確保の内容」について 2 子ども・子育て支援事業計画(素案)について 3 子ども・子育て支援新制度に関する各種基準(案)について 4 その他
会議結果	「量の見込み」の補正の考え方、それに対する「確保の内容」の確定までの算出方法について説明し意見聴取、「量の見込み」・「確保の内容」の確定の方向性について了承を得た。
会議経過	別添のとおり
会議資料	1 平成26年度第2回戸田市児童福祉審議会会議次第 2 子ども・子育て支援事業計画「量の見込み」・「確保の内容」 3 戸田市子ども・子育て支援事業計画(初稿) 4 子ども・子育て支援新制度に関する各種基準(案)について 5 第2章 子ども・子育てを取り巻く状況
議事録確定	平成26年7月17日 会長

議事要旨

発言者	発言要旨
<p>こども青少年 部長及び会長 あいさつ</p>	<p><b>【 開会 】</b></p> <p>皆さま、こんにちは。本日は大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。日頃より市の子育て支援事業にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、今年度第2回目ということで、この後、議題となっておりますが、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」については、前回会議でも説明がありましたが、調査方法や国の算出方法から全般的に高めに出ているという傾向でございます。</p> <p>なかには、一部実態とは大きくかい離しているところなどもあり、この「量の見込み」の確定につきまして、いかにニーズを反映させるか、また実態に即したものにするか、こういった点が事務局でも苦慮したところでございます。これは本市のみならず他自治体においても同じような傾向が出ているところもあると伺っております。</p> <p>また、本計画につきましては、5年間の計画ということになりますが、今後の社会情勢や財政的な面などもあり、現実的な問題も含めましての検討も必要となってくるのかなと考えております。</p> <p>詳しくはこの後、事務局からの説明がございしますが、「量の見込み」や「確保方策」、「提供体制」の確定と、あわせて、戸田市で今まで子どもの計画につきましては「次世代育成支援行動計画」というものがありました。その内容も引き継ぎながら、子ども・子育て支援施策全般の計画策定につきまして、本日も委員の皆さまのご意見を頂戴しながら、調査審議していただきたく、よろしくお願い申し上げます。なかなか盛りだくさんの内容になるかと思いますが、よろしくお願いいたします。以上です。</p> <p><b>【会長あいさつ】</b></p> <p>皆さん、こんにちは。あらためて、よろしくどうぞお願いします。今日も、お忙しい中、各委員さんにはご出席を賜りましてありがとうございます。</p> <p>本日、議題（1）から（3）までありますが、それぞれ各委員さんの貴重なご意見を頂戴しながら進めていきたいと思っております。不慣れですが、会長ということで、進行への協力のほう、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>【委員自己紹介】</b></p> <p>(傍聴人の入場)</p>

発言者	発言要旨
事務局	<p><b>【議事】</b></p> <p>1 子ども・子育て支援計画「量の見込み」・「確保の内容」について（資料2 子ども・子育て支援事業計画「量の見込み」・「確保の内容」をもとに説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の算出方法では、複数回答や施設を既に利用している人の回答分も含まれていることから、ニーズとしては高めに出る。</li> <li>・戸田市でも高い傾向であり、実情に即した補正が必要である。国でも補正は可能との見解。</li> <li>・過年度実績、申請者数の実績に推計年度の児童人口に乗じるなど補正を実施。</li> <li>・国の算出方法では「3号認定（0歳児）」は、880人分の保育需要量だが、現在の定員を差し引き、その不足分の受け入れには、保育所百十数園の設置が必要となり、現実的ではない。</li> <li>・実情に則した数値とするため、年齢別推計人口×利用率×増加率を量の見込みと算出し、保育需要が高いことを考慮し、増加率には1%を加えて算出。</li> <li>・「量の見込み」は全般的に高く、また、すべて実施が必要な事業もあるため、実情に即して市の算出方法で補正。「量の見込み」の補正及び確定についての算出方法について審議願いたい。</li> </ul>
委員	<p><b>【質疑応答】</b></p> <p>27年から31年までの人口が0歳で横ばい、0歳から5歳が若干増、6歳から11歳は逆に減少しています。戸田市の人口は、増加しており、若い世代も増えていることから子どもの出産が増えて来ると、この数字が果たして適性なのか、あくまで見込みなのでしょうか。</p>
事務局	<p>人口推計はコーホート変化率法で算出。例えば大型マンションが出来て急な人口増加があるなどは入っていない人口推計です。</p> <p>「量の見込み」の算出には、実態に近づけるため、過去の実績だけではなく、プラスアルファでのニーズの見込みや人口がどう変化するかなども加味して算出したところです。</p>
委員	<p>人口推計とちょっとズレが生じているのではないかと、もっと子どもの数が増えてくるのではないかと。思。「量の見込み」については、これぐらいなのかなと思います。</p>
会長	<p>先に資料5の「子ども・子育てを取り巻く状況」に記載のある人口</p>

発言者	発言要旨
	動態等について説明をするとわかりやすいのではないかとおもいますのでお願いします。
事務局	資料5「子ども・子育てを取り巻く状況」をもとに説明。
会長	人口の動態については、説明のとおりで確定とはならないと思いますが、それも含めて、他に質問はいかがでしょうか。
委員	市外在住で戸田市在勤の方は戸田市の保育所に入れるのか。
事務局	原則は戸田の住民が対象だが、保育所に空き等あれば入れます。
委員	この「量の見込み」は、全て戸田市在住の子どもの数なのか。他市に住んでいて戸田市で働いて預ける子どもの数は考慮していないものなのか。他市から通っている子どもの数は把握しているのか。
事務局	<p>「量の見込み」は現在戸田に住んでいるお子さんの人口である。現在、市外の住民で戸田市の認可保育園を利用している方は、戸田から引っ越された方で若干名いる。もともと市外の方が戸田市の認可保育園を希望しても、戸田市民で入ることができない状況もあるため、受け入れは難しい。保育の実施義務は、住んでいる市町村にあるため、この計画では市外住民の保育の利用について加味はしていない。</p> <p>ただし、過年度実績の数字は、保育園入園申請をされた方の数であるので、仮に市外の方が申請したとすればそこに入る、保留になっている方も含んでの過年度実績であるのでご理解いただきたい。</p>
会長	他にないか。特になければ、先ほど事務局のほうから説明があった通り、(1)の議題については了承して、量の見込み・確保の方策については、事務局の案で確定ということで進めていただきたい。
委員	特になし。
事務局	<p><b>【議事】</b></p> <p>2 子ども・子育て支援事業計画（素案）について （資料3 戸田市子ども・子育て支援事業計画（初稿）をもとに説明）</p>
委員	<p><b>【質疑応答】</b></p> <p>子どもの貧困問題について、「子どもの貧困対策法」ができたのです</p>

発言者	発言要旨
	が、これからそういう施策や支援について、今後、計画にその趣旨が盛り込まれることはあるのでしょうか。
事務局	今のところ、この計画に合致するところはないが、全般的な施策として、それぞれ支援の中に盛り込むことはできると思います。
委員	それは、法律が違うからか、また担当する所管が違うからか。具体的に計画を進めていく中で、国等から何かしら示されればそういうものを入れていくような方向性はあるのでしょうか。
事務局	今後国から何か示されればそれを盛り込むことになると思います。また、既存の事業で拡充するといったことも考えられますので、ご意見として頂戴します。
事務局	<p><b>【議事】</b></p> <p>3 子ども・子育て支援新制度に関する各種基準（案）について （資料4 子ども・子育て支援新制度に関する各種基準（案）をもとに説明）</p>
委員	<p><b>【質疑応答】</b></p> <p>学童保育室には、特別支援学級のお子さんも入所しているが、指導員の人数というのは、それを考慮した人数配置をされているのか、それとも一律の基準なのでしょうか。</p>
事務局	配置について、基準は決まっているが、特別支援学級のおさんがいる学童につきましては、それを考慮し人員を加配しています。
委員	家庭保育のところのA型、B型とは何でしょうか。
事務局	新制度では、家庭保育は小規模保育事業という19名以下の保育施設となります。保育士の全員が資格を有している施設がA型、保育士の半分以上が資格を有している施設がB型と分けられ、それに対する補助金にも違いが出てきます。
会長	ほかに質問はないか。ないようだが、また適宜質問があれば事務局へ問い合わせしてください。

発言者	発言要旨
事務局	<p><b>【議題】</b></p> <p>4 その他</p> <p>本日の会議録は、市のホームページで資料とともに公開をします。また、7月26日土曜日午後2時、福祉保健センターで市民向けに子ども・子育て支援新制度の説明会を開催。本日の資料をもって新制度、計画の概要について説明、意見等を頂戴し、説明会の結果は、次回の審議会で報告します。</p> <p><b>【閉会】</b></p> <p>次回の審議会は9月30日10時から同じ場所で開催とします。 平成26年度第2回戸田市児童福祉審議会を終了とします。</p>